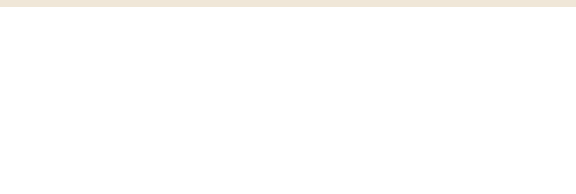
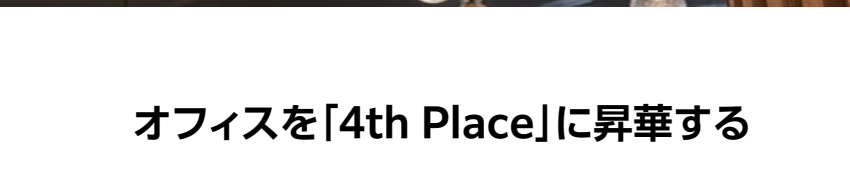




DesignArc Tokyo Office Renovation Project

デザインアーク東京本社・本店改装プロジェクト

オフィスの内装デザイン・設計、施工を手がける企業が、自社のオフィスをリノベーションする。デザインアーク東京本社・本店の改装は、業務を止めることなく3フロアを再編する一大プロジェクトとなりました。プロジェクトはワークショップを起点に、課題抽出→コンセプト策定→設計→施工→FFEまでを一気通貫で進行。「つながる / たかまる / みせる」が共鳴する「DesignArc Tokyoモデル」のオフィスが完成しました。



オフィスを「4th Place」に昇華する

工業を冠した前社名から、「創造業」への進化を表明する社名「デザインアーク」となって10年。今回のプロジェクトは、オフィスの刷新を機に、「未来につながる価値をつくる。」企業としての「働き方」を再定義する取り組みとなりました。

掲げたミッションは「全社員が活躍する夢のある職場づくり」。多様な部署の若手メンバーが集結し、ワークデザインのプロセスを一から体験。最初に、生産性・コワーキング・ウェルビーイング・エンゲージメントなどの課題を洗い出し、対話を通じて理想の働き方を探求しました。

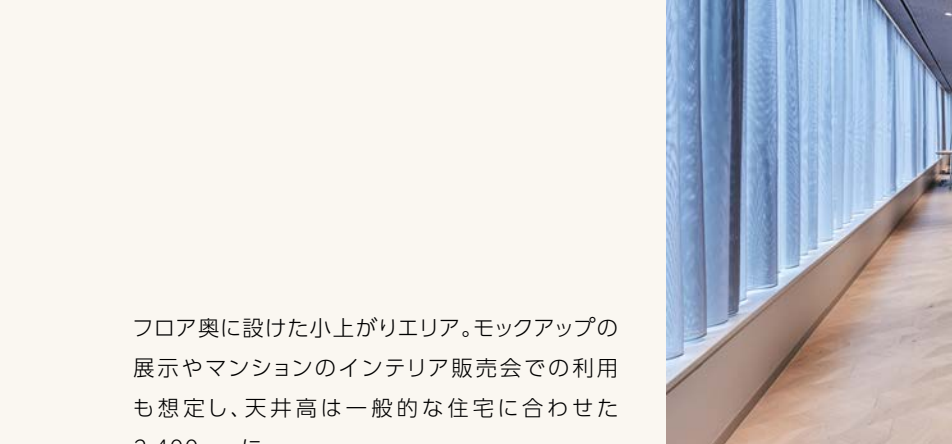
そこから導き出したのが「4th Place」というコンセプトです。自宅(1st Place)、職場(2nd Place)、お気に入りの場所(3rd Place)。それらを包括し、つながりが生まれる「4番目の場所」へワークプレイスを昇華させることを目指しました。

さらに、3フロアを貫く「創造の大樹」をシンボル・コンセプトに、それぞれの階に役割を設定しています。10階は「たかまる根」として、これまでの経験や新たな発想が根付く執務フロアに。11階は「つなぐ幹」の造作で、交流の活性化を象徴。12階は「みせる樹冠」として、デザインアークの提供価値や企業文化を社内外へ発信するフロアです。全フロアでABW(働く場所を自由に選べるワークスタイル)を導入し、フリーアドレスを主としながら固定席も併用する柔軟な環境としています。

12階



中央には造作のカフェカウンター。その奥にはコワーキングイベントエリアが広がる。見学したお客様からは、デザインアークの強みである「上質な場づくり」を高く評価いただいた。



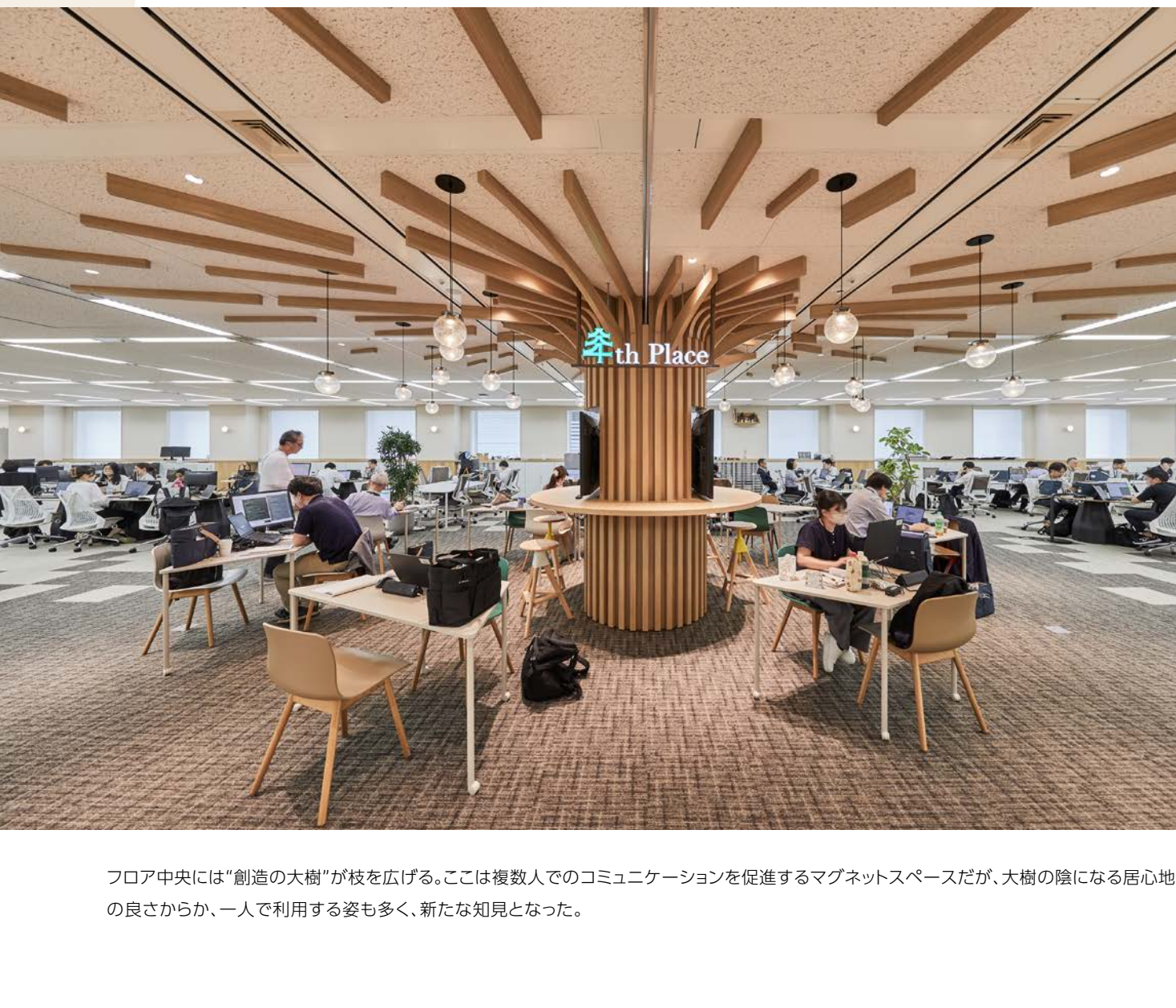
コワーキングイベントエリアは可変性を高め、セミナーやイベント、カジュアルな交流まで多目的に対応。右手のデジタルサイネージでは施工実例などを発信。左手の庭園には緑視率を高める植栽を施している。

フロア奥に設けた小上がりエリア。モックアップの展示やマンションのインテリア販売会での利用も想定し、天井高は一般的な住宅に合わせた2,400mmに。

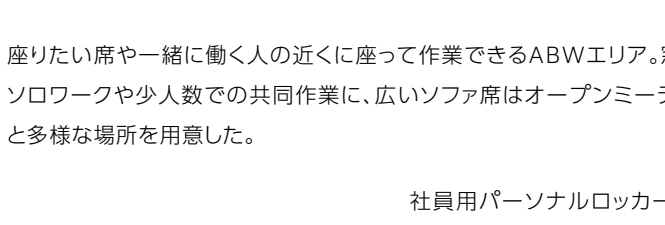


お客様を迎えるレセプションエリア。その奥にあるガラスパーティションで囲んだ会議室は、カーテンにより機密性の高い会議にも対応し、開放感と遮蔽(しゃべり)性を両立。最新のWeb会議システムを導入し、採用を検討するお客様に体験していただくことができます。

11階



フロア中央には「創造の大樹」が枝を広げる。ここは複数人でのコミュニケーションを促進するマグネットスペースだが、大樹の蔭になる居心地の良さからか、一人で利用する姿も多く、新たな知見となった。



座りたい席や一緒に働く人の近くに座って作業できるABWエリア。窓際の高はソロワークや少人数での共同作業に、広いソファ席はオープンミーティングに、と多様な場所を用意した。

社員用パーソナルロッカーは11階に集約。仕事の起点・終点であり、偶発的な交流を生み出すマグネット効果を意図。

10階



図面やサンプルを広げ、チームで作業できるサンプルエリアは、新たな発想が生まれる場所。



窓際は一人用の集中エリア。右奥にはガラス張りの社内打ち合わせブースや、2人で使用できる1on1ブースなどを配置。3フロアに散らばる社員の居場所は、位置情報アプリで確認。近くに座る人の名前や部署もわかり、初対面でも声をかけやすい副次的効果も生まれた。今後、アクティビティデータでスペースの利用状況を可視化し、最適化を図る。

実践知をデザインアークの提供価値に

このプロジェクトの大きな特徴は、オフィスを「働き、交流する場」だけにとどめず、「発信の場」や「実験の場」としても位置づけた点にあります。来訪者や社員に向けてデザインアークらしさを発信しながら、同時に自社製品や多様な家具を使ってメリット・デメリットを検証。旧作業服を内装材へ再加工するアップサイクルの一部取り入れ、持続可能性の視点も空間に反映しました。このようにオフィスを「プレゼンテーション」と「実証」の両面で活用することで、さまざまな実践知を蓄積し、お客様への提案に還元しています。

オフィス完成後、働き方にも変化が芽生えています。目的や気分に応じてフロアを移動する行動が自然となり、部署を越えた会話や出社率が増加。社員発案のイベントも活発化し、オフィスが交流や成長の起点として機能し始めました。さらに、全社員が業務を行いながら改修施工に協力した経験は、新オフィスへの愛着を育み、お客様に自信をもって自社を語る文化も醸成しています。

デザインアーク東京本社・本店は、リノベーションにより「働き方」と企業文化を変えたワークプレイスの実践例です。しかし、この完成は終わりではありません。運用しながら改善し続けるオフィスとして、試行とアップデートを重ね、そこで働く社員も、そして企業も成長していく。それこそが「DesignArc Tokyoモデル」の真骨頂です。

東京本社・本店 パーチャルツアー



デザインアークでは、ハウジングからオフィス・ホテル空間等のインテリアプロデュース・納品等を行っております。

下記HPでも施工事例をご紹介しますので、ぜひチェックしてください。

これからもさまざまな情報を発信してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。